

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 13 日現在

機関番号：24402

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25285119

研究課題名(和文) 環境統合型生産システムの構築に関する国際比較研究

研究課題名(英文) International comparative research on the establishment of production system
incorporating Environmental Management

研究代表者

中瀬 哲史 (AKIFUMI, AKIFUMI)

大阪市立大学・大学院経営学研究科・教授

研究者番号：40274352

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,200,000円

研究成果の概要(和文)：われわれは、環境経営を現実にするため、環境技術の革新、それを活用する企業の理念、その環境経営を支える社会の連携が不可欠であることを明らかにしてきた。今回の研究で地域経済の落ち込みを実感して、地域経済の再生と環境経営の実践の両立を目指した。そのために以下の重要さが明らかとなった。第1に、企業や行政等の地域のプレイヤーが地域資源の強みを共有すること、第2に、現実に地域資源の実態に合わせて、具体的に環境経営の理念を各プレイヤーに付与すること、第3に、当該地域外とも有効なネットワークを構築することである。以上によって、環境経営の実現、その企業経営の確立、地域経済の発展につながることを明らかにした。

研究成果の概要(英文)：We have shown clearly that innovation of environmental technology, the idea of the company which utilizes it, and cooperation of a community are indispensable in order to make eco-management actual. We realized depression of regional economy by this research. We aimed at revival of regional economy, and coexistence of practice of eco-management. Therefore, the following importance became clear. It is that 1st the players of areas, such as companies and administrations, share the strong point of local resources. In the second it is giving the idea of eco-management actually to each player concretely according to the actual condition of local resources. Third it is building an effective network to the outside of the area concerned. By the above, We showed clearly that we lead to realization of eco-management, establishment of the corporate management, and development of regional economy.

研究分野：経営史

キーワード：環境統合 生産システム 地域経済の再生 環境経営

1 . 研究開始当初の背景

現在では、どの国、地域でも環境経営に強い関心を抱いているものの、環境技術の発展でのみその環境問題を解決しようとしている。これまでのわれわれの研究から、環境問題を解決し、持続的に発展していくためには、環境技術を革新し続けるとともに、その環境技術を活用する企業の理念が重要であり、地域社会との連携を構築することが必要であることを明らかにしてきた。

2 . 研究の目的

そこで、本研究では環境技術の発展、その環境技術を活用する企業の理念、関係する地域社会との連携のあり方を調査しようとした。研究を進めるなかで、環境経営を実践すべき地域経済は大変に疲弊し、地域社会の崩壊状態に接した。このままでは、連携すべき地域社会は消滅してしまう。そこで、地域経済を再生し、企業経営を自立、自律させ、同時に環境経営を実践しうるあり方を研究することになった。いわば、地域経済の再生と環境経営の実践の両立を目指したのである。

3 . 研究の方法

第1に、具体的な産業（電力産業、鉄鋼産業、化学産業、自動車産業、エレクトロニクス産業、建築産業）を取り上げること、第2に、それら産業とのかかわりで、日本の国内外の企業、行政府を訪問して実態を調査すること、第3に、本研究の母体でもある生産システム研究会を定期的開催して議論を行うこと、第4に、分担研究者ともども所属する学会（日本経営学会、工業経営研究学会、環境学会、管理論研究会等）で発表すること、であった。

実際に複数の研究者で訪問したところは、北海道網走市、中国浙江省、天津であった。個々の研究者は、東京、関西など、興味深い企業、行政を訪れて研究を進めた。

4 . 研究成果

地域経済の再生と環境経営の実践の両立に関する調査から、以下のことが明らかとなった。第1に、企業や行政等の地域のプレイヤーが地域資源の強みを共有することが、まずは重要だということである。足もとを見つめ直すことの必要を痛感した。第2に、現実に地域資源の実態に合わせて、具体的に環境経営の理念を各プレイヤーに付与することである。この点で、環境経営とは言い難いかもしれない措置、例えば、スーパーではレジ袋を購入しない、事業所でのごみの分別をしっかりと行うことなどから始めることが重要であった。第3に、当該地域外にある環境経営のプレイヤー（企業や行政など）とも有効なネットワークを構築することである。以上によって、企業経営を確立し、地域経済を再生して、環境経営の実現につながる方向性を確認した。ただし、研究はまだ発展途上である。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 23 件)

- (1) 中瀬哲史, 東京電力の経営史と原子力発電所事故, 経営研究, 査読有, 第 66 巻第 4 号, 2016, 153-184
- (2) 橋本理他, 連帯経済と住民自治・コミュニティ福祉, 立教大学コミュニティ福祉学部紀要, 査読無, 第 18 号, 2016, 133-151
- (3) 金恵珍, 三星電子(株)における利益最大化のための人材活用, 東アジア経済経営学会誌, 査読有, 第 8 号, 2015, 33-44
- (4) 田口直樹, 日本のモノづくり技術の再評価と技術競争力再構築の方向性, 工業経営研究, 査読有, 第 29 巻, 2015, 6-15
- (5) 田口直樹, 技術史からみた戦後日本のイノベーションの展開, 学術の動向, 査読無, 11 月号, 2015, 2-7
- (6) 上田智久, 半導体製造における製造装置企業の役割, 日本経営学会 経営学論集, 査読無, 第 85 集, 2015, 1-10
- (7) 橋本理, 社会的企業の経営探究, 日本経営学会, 経営学論集, 査読無, 第 85 集, 2015, 54-63
- (8) 中瀬哲史, 現在は危機の時代か, 日本経営学会, 経営学論集, 査読無, 第 84 集, 2014, 41-51
- (9) 宇山通, トヨタにおける部品共通化の新展開, 九州産業大学経営学論集, 査読無, 第 25 巻第 2 号, 2014, 47-73
- (10) 牧良明, グロバル競争下における日立系自動車部品二次サプライヤーの対応, 茨城大学人文学部, 社会学論集, 査読無, 第 58 号, 2014, 21-39
- (11) 田口直樹, 局所排気装置の技術的基盤と普及の条件, 日本の科学者, 査読無, 第 50 巻第 4 号, 2014, 186-191
- (12) 田口直樹, 自動車の大量生産を支えたボディプレス技術の形成過程, 大阪経大論集, 査読無, 第 65 巻第 2 号, 2014, 41-61
- (13) 上田智久, 地域活性化における共存・共栄理念の意義と継承性, オホーツク産業経営論集, 査読無, 第 22 巻第 1・2 号, 2014, 23-38
- (14) 藤木寛人, 協同組合による建設リサイクルのイノベーション, 経営研究, 査読有, 第 65 巻第 2 号, 2014, 25-45
- (15) 中村真悟, 石油化学工業における多品種大量生産プロセスの成立と展開, 立命館大学, 社会システム研究, 査読無, 第 28 巻, 2014, 87-108
- (16) 中村真悟, 石油化学工業における市場ニーズ対応型生産プロセスの成立, 立命館経営学, 査読無, 第 56 巻第 6 号, 2014, 55-73
- (17) 上田智久, 半導体製造における環境統合型システムの意義と限界, 立命館経営学, 査読無, 第 52 巻第 2・3 号, 2013, 283-298
- (18) 中村真悟, 循環型素材産業における生産プロセスの技術的・経済的条件, 立命館

- 経営学, 査読無, 第 52 巻第 2・3 号, 2013, 453-467
- (19) 田口直樹, 中小企業のグローバル化と事業領域の拡大, 商工金融, 査読無, 第 63 巻第 1 号, 2013, 9-20
- (20) 田口直樹, 建設アスベスト問題における粉じん対策の基本原則と粉じん対策技術, 立命館経営学, 査読無, 第 52 巻第 2・3 号, 2013, 185-201
- (21) 坂本清, フォードシステムと分業の機能の科学化, 経営研究, 査読有, 第 64 巻第 1 号, 2013, 39-50
- (22) 坂本清, 労働と機能と熟練に関するノート, 経営研究, 査読有, 第 64 巻第 3 号, 2013, 87-117
- (23) 宇山通, 自動車企業におけるモジュール化の新展開, 九州産業大学経営学論集, 査読無, 第 24 巻, 2013, 27-47

〔学会発表〕(計 4 件)

- (1) HASHIMOTO Satoru, 'The provision of care services for elderly people by the co-operative sector in Japan' in the 5th EMES international research conference on social enterprise, July 2nd 2015, Helsinki Deaconess Institute, Helsinki (Finland)
- (2) 金恵珍「シンポジウム サプライチェーン・サステナビリティ診断ツールの開発」, 環境経営学会 2015 年度研究報告大会, 2015 年 5 月 24 日, 法政大学市ヶ谷キャンパス(東京都・千代田区)
- (3) 橋本理「社会的企業の経営探求 - 企業形態としての独自性とその矛盾」日本経営学会第 88 回大会統一論題『日本のものづくり経営パラダイムを超えて』, 2014 年 9 月 6 日, 国土館大学(東京都・世田谷区)
- (4) 中瀬哲史「現在は企業経営の『危機の時代』か」, 日本経営学会, 2013 年 9 月 6 日, 関西学院大学(兵庫県・西宮市)

〔図書〕(計 8 件)

- (1) 坂本清, 学文社, フォードシステムともの作りの原理, 2016, 208
- (2) 李捷生他, 日本経済評論社, グローバル資本主義と新興経済, 2015, 27-56
- (3) 李捷生他, 白桃書房, 中国の現場からみる日系企業の人事労務管理, 2015, 266-274
- (4) 橋本理他, 晃洋書房, ディーセント・マネジメント研究, 2015, 65-78
- (5) 中村真悟他, ムイスリ出版, 科学と技術の歴史, 2015, 114-123, 141-149
- (6) 宮崎崇将他, 文理閣, 資本主義の現在, 2015, 86-101
- (7) 田口直樹他, 本の泉社, 予防原則・リスク論に関する研究, 2013, 135-146
- (8) 橋本理, 法律文化社, 非営利組織研究の基本視角, 2013, 305

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中瀬 哲史 (NAKASE Akifumi)
大阪市立大学・大学院経営学研究科・教授
研究者番号: 40274352

(2) 研究分担者

田口 直樹 (TAGUCHI Naoki)
大阪市立大学・大学院経営学研究科・教授
研究者番号: 60303252

橋本 理 (HASHIMOTO Satoru)
関西大学・社会学部・教授
研究者番号: 60340650

李 捷生 (LI Shosei)
大阪市立大学・大学院創造都市研究科・教授
研究者番号: 50255634

坂本 清 (SAKAMOTO Kiyoshi)
大阪経済法科大学・経済学部・教授
研究者番号: 70089184

牧 良明 (MAKI Yoshiaki)
茨城大学・人文学部・准教授
研究者番号: 00554875

宇山 通 (UYAMA Michiru)
九州産業大学・経営学部・准教授
研究者番号: 50584041

上田 智久 (UEDA Tomohisa)
東京農業大学・生物産業学部・准教授
研究者番号: 60634029

金 恵珍 (KIM Keichin)
大阪経済法科大学・アジア研究所・研究員
研究者番号: 10573876

中村 真悟 (NAKAMURA Shingo)
立命館大学・経営学部・准教授
研究者番号: 10623358

藤木 寛人 (FUJIKI Hiroto)
大阪市立大学・大学院経営学研究科・経営学研究科付属先端教育センター・特別研究員
研究者番号: 30711931

宮崎 崇将 (MIYAZAKI Takamasa)
追手門学院大学・経営学部・講師
研究者番号: 40636908

片淵 卓志 (KATAFUCHI Takashi)

阪南大学・流通学部・准教授
研究者番号：8 0 5 8 6 7 2 7

(3)研究協力者

恵 浩星(KEI Kosei)
山口 祐司(YAMAGUCHI Yuji)
小田 利広(ODA Toshihiro)
津川 礼至(TSUGAWA Reiji)